

「科学の現在を問う」活動シート（評論文「科学の現在を問う」著者：村上陽一郎）

1. 本文に科学の研究の「負の影響」について言及されている。それは具体的にどのようなものだろうか。科学の研究における正負の影響について、具体的に考え、以下の表に書き込もう。

番号	研究・発明の内容	+正の面（社会に良い影響を与えると考えられる点）	-負の面（社会に悪い影響を与えると考えられる点）	備考
1	ダイナマイト	土地の開墾・建設現場の労働を軽減する。	★	ノーベル
2	ラジウムの発見	エネルギーとして使える。昔は放射線治療などに用いた。	★	キュリー夫妻 1903 ノーベル賞
3	アンモニアの生成（ハーバー・ボッシュ法）	化学肥料造りに必須な技術。→農作物の生産量の増加や安定に繋がった。	火薬の原料としても用いられるため、武器の生成にも転用できる。	フリッツ・ハーバー(ドイツ) 1918 ノーベル賞
4	殺虫剤（チクロンB）	簡単に害虫の駆除ができる。	★第二次世界大戦時、ナチスドイツによって、（ ）として使われた。	
5	ロボットやドローンの開発	★	★	
6	クローン技術	★	★	

2. 上記以外の研究や発明の例をあげ、それらが社会に与える正負の影響を考えよう。【個人案】

番号	研究・発明の内容	+正の面	-負の面

【グループで出た他案】

番号	研究・発明の内容	+正の面	-負の面

3. 科学研究のあり方と社会との関係について、あなたはどのように考えるか。

他人事ではなく、自分や大切な人の生活や将来に関わる問題として、考察を深めること。【個人】

<hr/>

4. 3について、グループのメンバーで相互に問答しよう。以下のような問答を経ることで、互いの主張をより磨くことができる。【グループ】

- ① 「あなたがそう考えるのはなぜですか」(根拠)
- ② 「それはどういう意味ですか。詳しく教えてください。」(詳細・言い換え)
- ③ 「具体例を教えてください」(具体例)
- ④ 「それはつまりどういうことですか?一般化できますか?」(一般化)
- ⑤ 「それはどんな場合でも言えますか?」
「〇〇な場合(相手が想定していない状況)はどうですか?」(反論)

《メモ》(なるほどと思った他者の意見・他者への質問・自分が質問された内容など)

--

5. 問答を経て、科学研究のあり方と社会との関係について、改めてどのように考えるか。問答を経て考えたことや、変化した点なども含めて、あなたの「主張」を「根拠」とともに書け。

<hr/>
